



# おやの詩・こどもの詩

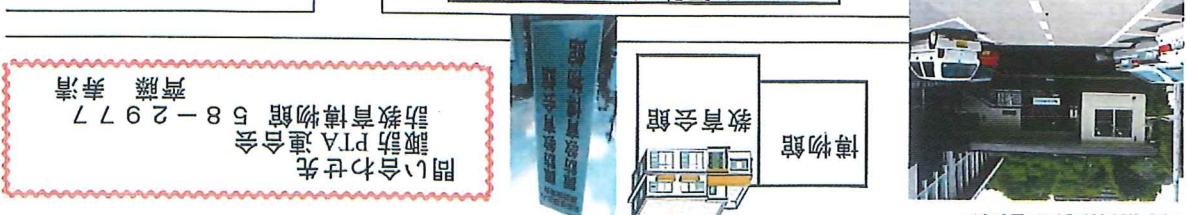
諏訪地区PTA連合会  
子育て委員会より  
令和4年7月吉日発行  
事務局 諏訪1-23-10

## 諏訪地区PTA連合会三行詩コンクール 受賞作品決まる!!

部	学年	氏名	学校	保護者	作品
小	優秀賞	中山 透悟	中洲小学校6年	中山 透悟	かいこう母おそい夜 いればうさぎ いないときびしいそのそん在 おそるべし
		山田 純葉	上の原小学校6年	山田 純葉	おんとうばをあけて すく目にはいたのは1つのおかず 小ちやいこから大好きな 1口サイズのおはるまき さめてはいるはずなのに なんたかあったかい お母さんのキモチ ほくまでつけておばあちゃんにやめたかなしいけれどまもってくれたおばあちゃんありがとう ほくまでつけてくれよう
小	優良賞	久保寺 優衣	北山小学校5年	久保寺 優衣	離がつないでくれた私の命 森や里や川や海へ 今度は私がつなぐ人
		伊藤 瑠華	長地小学校6年	伊藤 瑠華	「起-き-て- 遅刻するよ-」 めざましよりも お母さんの声で目が覚める 「おはよう!!」
小	優秀賞	山田 美由姫	上の原小学校6年	山田 美由姫	愛護もリモート 授業もリモート 親せきもリモート もう! 直接会って話しな!!
		鳥田 晴珠	下諏訪中学校2年	鳥田 晴珠	「食へずぢやダメだよ」 そう言いながら コロッケを 20個揚げる母さん
中	優良賞	古田 比呂	下諏訪中学校3年	古田 比呂	昨日はケツカ 今日は無規 最近ずっと反抗期 それでご飯は一緒に食べる
		横山 雄大	岡谷東部中学校3年	横山 雄大	夕飯を いらないといっても だまっておにぎりを 作ってくれる母
中	優良賞	林 音琉	岡谷東部中学校3年	林 音琉	部活動 雑用係の我らかな でもつながってはいへず 2年後に
		中村 恵大	岡谷南部中学校1年	中村 恵大	お父さんは言葉のキツチャー お母さんは下パイスのビッチャー 妹は支える親密 だから私たちがまよって
中	優良賞	風田川 凛々花	永明中学校1年	風田川 凛々花	毎日の行ってきまふつじやありません 学校に行けない人は世界にたぐさんいます 毎日毎日の行ってきまふつじやありません 学校に行けない人は世界にたぐさんいます 毎日の行ってきまふつじやありません 学校に行けない人は世界にたぐさんいます
		村上 桜介	下諏訪中学校3年	村上 桜介	そよ風で 風鈴響く 掃り道
中	優良賞	高島 夢由利	岡谷東部中学校1年	高島 夢由利	できない わからない と言えば考えられる 私の悩みは家族の悩み 家族の悩みは私の悩み
		船澤 美桜	岡谷東部中学校2年	船澤 美桜	「この家に生まれて良かった」と 笑顔で言ってくれるあなたこそ 私達のもとに生まれてきてくれて ありがとう
小	優秀賞	秋山 緑	岡谷田中小学校保護者	秋山 緑	晴れた日のフライングBM 昔はCD 今は娘の鼻歌
		上田 恵児	境小学校保護者	上田 恵児	小4と年長はすぐぐにけんかする 小6と小4はすぐぐにけんかする でも服を買に行くと何故かおそろい
小	優良賞	佐藤 恵美子	下諏訪南小学校保護者	佐藤 恵美子	旅立つ祖母のねむり顔 見ては感謝の思いが涙ロリ 母とおむつをかえて時間(とき)よりも 背負ってもらった思い出贈る
		山田 光輝	岡谷東部中学校保護者	山田 光輝	運動会 娘の晴れの姿にカマフラされる 知り合いと話が弾み シヤッターチャーンを取り返す 怒る 妻ごまかす私 悲しむ娘
小	優良賞	松村 文太	永明中学校	松村 文太	担任として初めて送り出す卒業生 スクワの下に隠れた素顔 コロカがくれた成人式でのプレゼント
		入江 真由美	原中学校保護者	入江 真由美	試合後の「ただいま」に見る 今日の出来
小	優良賞	佐藤 稔	永明小学校保護者	佐藤 稔	おはようの 一言でわかる 家族の機嫌 今日1日が始まる
		齊藤 真理	岡谷南部中学校保護者	齊藤 真理	コトヲ細読み 「スクワ外せ」と言われるが 外したくない スクワ美人
小	優秀賞	土屋 孝子	上の原小学校保護者	土屋 孝子	孫のお手伝い 包丁持つ手に ヒヤヒヤドキドキ 大きくなったねと涙ぐむ

## 諏訪地区P連三行詩コンクール入賞作品展示』案内

1 展示期間 令和4年8月1日(月)～8月31日(水)  
 2 場所 諏訪教育博物館(諏訪教育会館となり)  
 3 展示作品 令和4年度 諏訪地区三行詩コンクール入選作品  
 4 開館時間 水・火・木・金 9時～17時 土・日・祭日 9時～16時  
 主催 諏訪地区PTA連合会  
 後援 長野日報社 市民新聞グループ(7紙)



→至 岡谷 国道20号 上諏訪駅  
 問い合わせ先 諏訪PTA連合会 諏訪教育博物館 58-2977 齊藤 寿清

諏訪地区PTA連合会では、例年行っている全国P連の「三行詩コンクール」に合わせ、郡独自の第3回三行詩コンクールを開催いたしましたところ、本年度も多くの皆様より応募いただきました。【小学生の部 243名、中学生の部 566名、一般の部 21名、特別支援学級の部 1名 計 831名】ありがとうございました。6月21日の三役理事会に於いて、本年度役員の皆様による厳正な審査の結果、以下の入賞者が決定いたしました。おめでとうございました。これらの皆様は、8月1日～31日まで諏訪教育博物館に展示させていただきます。その後、副賞とともに受賞した皆様にお慶び申し上げますので、それまでお待ちください。なお、これらの入賞作品は、県の三行詩コンクールに送られ、全国コンクールへとつながってまいります。

【優秀賞受賞者の声】  
 (小学校の部 中山 透悟さん)いつも口うるさく感じてしまう母ですが、帰りが遅くなったときにはなぜか寂しくなったという気持ちを詩に書き入れました。入選した時には、びっくりしたけれど、それ以上にうれしさを感じました。受賞したことを、今一番早く伝えたいのは母です。  
 (中学校の部 鳥田 晴珠さん)いつも「食へ過ぎちゃだめだよ」という母さんが、そう言いつつまたたくさん作ってくれるうれしさ、おもしろさを詩にしました。母さん、ありがとう。  
 (一般の部 秋山 緑さん)いつも子どもたちから、学びと笑顔をもたらしていて、幸せな気持ちで表現しました。うれしいです。



【各部 優秀賞作品】